

スタッドレスタイヤの豆知識

スタッドレスタイヤの基本性能の高さは年々増し、安全性はもちろん、走行性の高さも向上しています。ドライバー自身の安全への意識 " を高めることが、とても大切です。

スタッドレスタイヤとは？

車を運転しないかた、雪の降らない地域にお住まいのかたには、あまり馴染みがないかもしれません。「今年の冬は、車でスキーに出かけよう！」と考えているかたも、初めてスタッドレスタイヤを使用する時、迷ってしまいますよね。

スタッドレスタイヤとは、スタッド(スパイク)のない、冬期の雪道や凍結路での走行性と安全性を高めたタイヤのことです。

チェーンとの違いは？

	鉄チェーン	ゴムチェーン	スタッドレスタイヤ
価格	低	中	高
安全性	低	中	高
走行性	低	中	高

装着のしやすさは、ある程度の慣れが必要となります。これが楽と一概には言えません。スタッドレスタイヤの基本性能の高さは年々増し、安全性はもちろん、走行性の高さも向上しています。ドライバー自身の安全への意識 " を高めることが、とても大切です。

タイヤの保管管理、寿命について

【タイヤの保管】

直射日光のあたらない、風通しのよい場所でタイヤラック等を使用して保管することがおすすめです。もし、床面に保管する場合は、ダンボール等厚い敷物をご使用ください。タイヤ・ホイールセットでの保管の場合は、接地部の変形を抑えるため、なるべく横置きで保管してください。

【スタッドレスタイヤの寿命の見方】

スタッドレスタイヤは、溝の深さが新品時の50%に減り、プラットフォームが露出すると冬用タイヤとしては使用できなくなります。プラットフォームは、タイヤサイドの4箇所に表示された矢印が示す接地面の溝内にあります。定期的に点検しましょう。

■「プラットフォーム」は冬用タイヤの交換サインです 残り溝をチェックしましょう。



冬用タイヤで、積雪路および凍結路走行の場合は、残り溝が新品時の50%以上あること(プラットフォームが露出していないこと)を確認してください。溝深さ50%未満のタイヤは、冬用タイヤとしては使用できません。(プラットフォームは全4ヶ所の内、1ヶ所でも露出したら、必ず新品タイヤと交換してください。)



プラットフォームはタイヤサイドの↑が目印です。

また、溝が残っていても硬化の激しいタイヤは性能が劣ります。お近くのタイヤ店での点検をおすすめいたします。

冬の安全運転について (走行のポイントなど)

冬道の走行は、危険がいっぱいです。雪道での走行時は、普段と同じ車間距離では、追突事故を起こす危険性が高くなります。安全に停止できるように、ゆとりを持って走行しましょう。また、ブレーキは踏みっぱなしではなく、踏んで離しての繰り返しをします。一番危険なのは、カーブで急ブレーキをすると反対車線を越えて、大事故に繋がる危険性があります。

How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



スタッドレスタイヤ Q & A

Q1. 夏タイヤにはいつ戻せばいいの？

A1. 積雪や路面の凍結の心配がなくなったら交換してください。

Q2. スタッドレスタイヤを履いていれば、雪道や凍結路は安心なの？

A2. スタッドレスタイヤの性能は万全ではありません。

気象状況や地形の変化によって異なります。

また、スタッドレスタイヤの装着だけでは安全ではなく、スタッドレスタイヤとチェーンの併用をしなければいけない場合もあります。

※“急”のつく動作（急発進・急ハンドル・急ブレーキ）は避け、安全運転を心がけましょう。

Q3. 空気圧の指定は、夏タイヤと同じなの？

A3. 夏タイヤと同じです。

運転席側のドアを開けたボディ側に空気圧を表示したシールが貼ってあります。

確認の上、充填してください。

Q4. スタッドレスタイヤとスノータイヤの違いは何？

A4. 以前は、スパイクタイヤとスパイクピンを打っていないスノータイヤがありましたが、現在は粉塵（ふんじん）公害の為、スタッドレスタイヤのみとなります。

Q5. 乾燥した路面で使用するとどうなるの？

A5. 走行・性能にはまったく問題はありません。

ただし、タイヤの磨耗は若干増します。また、燃費も悪くなります。

